

第8節 大阪市二次医療圏

1. 外来医療体制（全般）

（1）外来医療施設数

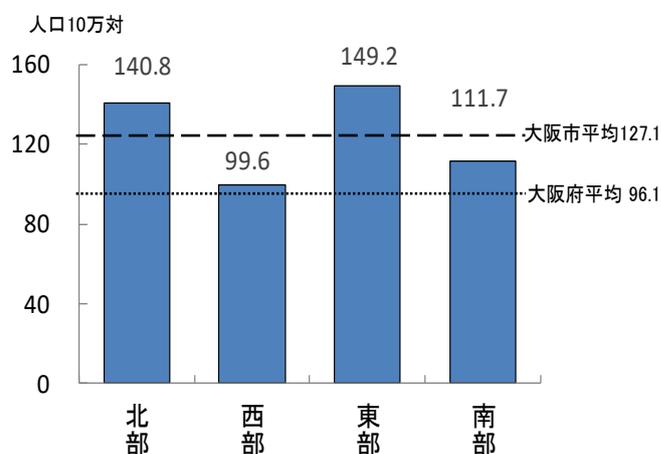
【医療機関の設置状況】

○大阪市二次医療圏における外来医療機関数は、平成30年10月1日現在、一般診療所が3,464施設（95.2%）、病院が175施設（4.8%）となっています。

図表 3-8-1 外来医療機関数(平成30年)

基本保健医療圏	一般診療所		病院		合計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
北部	969	96.4%	36	3.6%	1,005	100%
西部	481	94.5%	28	5.5%	509	100%
東部	1,105	94.6%	63	5.4%	1,168	100%
南部	909	95.0%	48	5.0%	957	100%
大阪市	3,464	95.2%	175	4.8%	3,639	100%
大阪府	8,481	94.3%	517	5.7%	8,998	100%

図表 3-8-2 人口10万対外来医療機関数【一般診療所】(平成30年)



出典 厚生労働省「医療施設動態調査」

※「人口10万対」算出に用いた人口は、総務省「国勢調査」、大阪府総務部「大阪府の推計人口(平成30年10月1日現在)」

【かかりつけ医療機関数(小児)】

○大阪市二次医療圏の小児かかりつけ医療機関数は、令和元年8月1日現在、一般診療所が22施設のみとなっています。

図表 3-8-3 かかりつけ医療機関数(小児)
(令和元年)

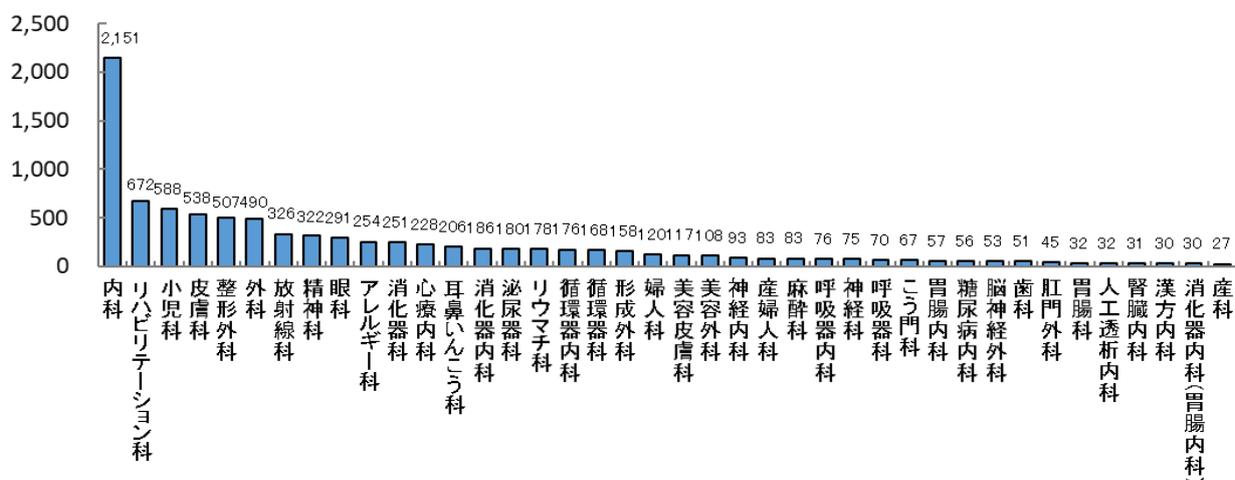
基本保健医療圏	一般診療所
	施設数
北部	6
西部	4
東部	5
南部	7
大阪市	22
大阪府	65

出典 近畿厚生局「小児かかりつけ診療料施設基準の届出受理状況」

【診療科別の設置状況(一般診療所)】

○令和元年10月9日現在、一般診療所の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が2,151施設(総数の59.8%)で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」672施設(同18.7%)、「小児科」588施設(同16.3%)となっています。

図表 3-8-4 診療科別の設置状況【一般診療所】
(令和元年)

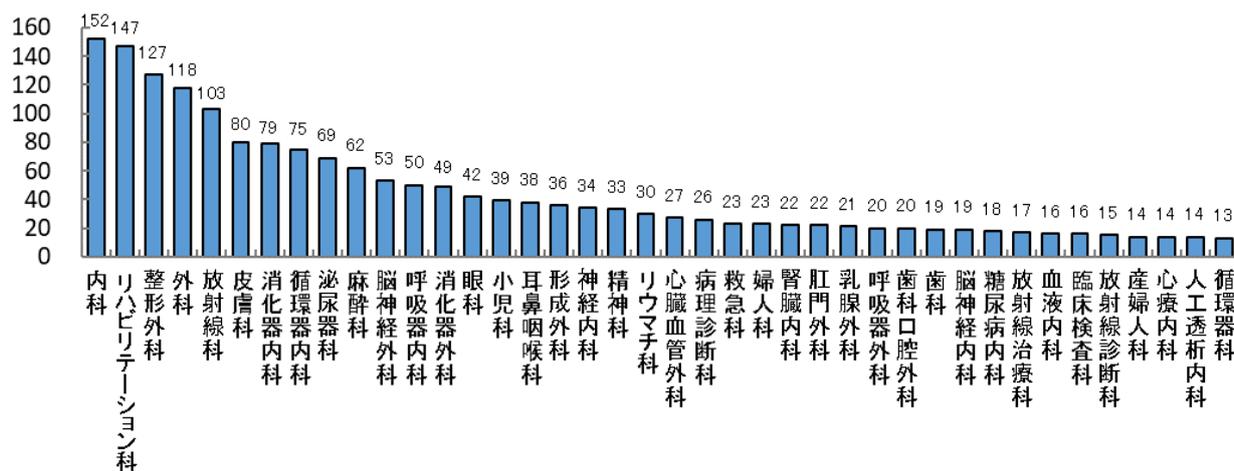


出典 大阪府医療機関情報システム

【診療科別の設置状況(病院)】

○令和元年 10 月 9 日現在、病院の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が 152 施設（総数の 85.9%）で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」147 施設（同 83.1%）、「整形外科」127 施設（同 71.8%）となっています。

図表 3-8-5 診療科別の設置状況【病院】
(令和元年)



出典 大阪府医療機関情報システム

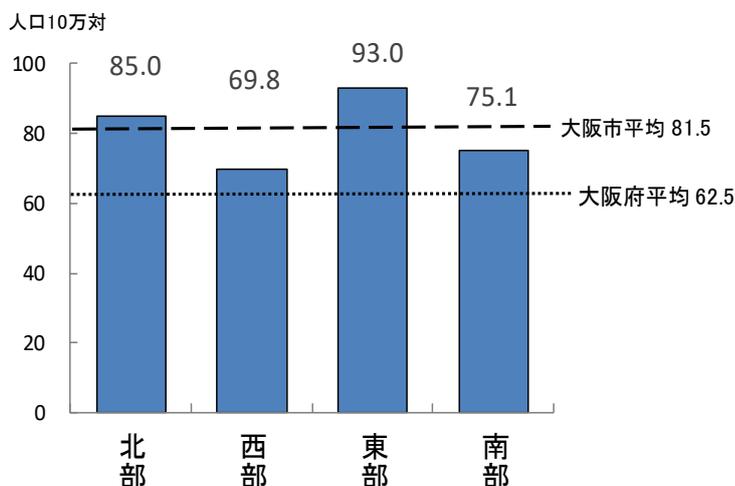
【歯科診療所数】

○大阪市二次医療圏における歯科診療所数は、平成 30 年 10 月 1 日現在、2,222 施設となっています。

図表 3-8-6 歯科診療所(平成 30 年)

基本保健医療圏	歯科診療所
	施設数
北部	585
西部	337
東部	689
南部	611
大阪市	2,222
大阪府	5,518

図表 3-8-7 人口 10 万対歯科診療所数(平成 30 年)



出典 厚生労働省「医療施設動態調査」

※「人口 10 万対」算出に用いた人口は、総務省「国勢調査」、大阪府総務部「大阪府の推計人口(平成 30 年 10 月 1 日現在)」

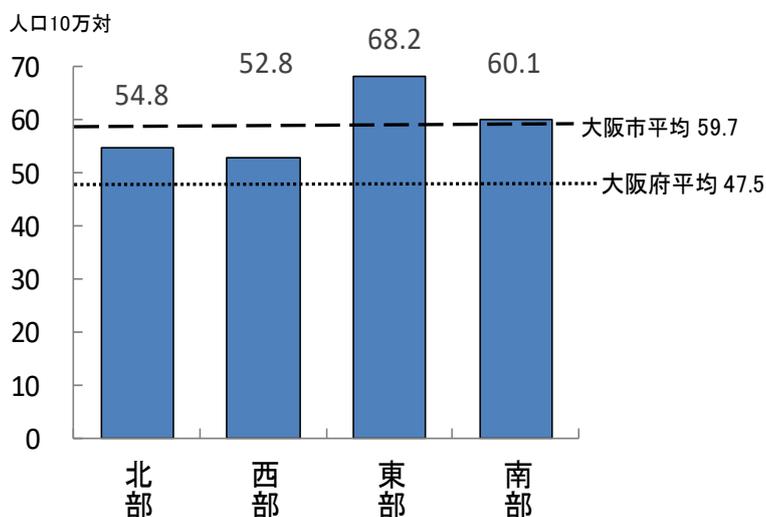
【薬局数】

○大阪市二次医療圏における薬局数は、令和元年12月1日現在、1,626施設となっています。

図表 3-8-8 薬局数(令和元年)

基本保健医療圏	薬局
	施設数
北部	377
西部	255
東部	505
南部	489
大阪市	1,626
大阪府	4,196

図表 3-8-9 人口10万対薬局数(令和元年)



出典 近畿厚生局「保険医療機関・保険薬局等の管内指定状況等について」
 ※大阪府の施設数は、「衛生行政報告例」、「人口10万対」算出に用いた人口は、
 総務省「国勢調査」、大阪府総務部「大阪府の推計人口(平成30年10月1日現在)」

【開設・廃止等の状況】

○平成28年10月から平成29年9月までの1年間における一般診療所の新規開設数は、177施設、廃止数は160施設となっています。

図表 3-8-10 開設・廃止等施設数
(平成29年)

市区町村	一般診療所				病院			
	開設	廃止	休止	再開	開設	廃止	休止	再開
北区	28	29	*	0	0	0	0	0
都島区	8	5	*	0	0	0	0	0
淀川区	7	8	0	0	0	*	0	0
東淀川区	5	*	4	*	0	0	*	0
旭区	5	7	0	0	0	0	0	0
福島区	6	6	*	*	0	0	0	0
此花区	*	0	0	0	0	0	0	0
西区	12	7	0	*	0	0	0	0
港区	*	*	*	*	0	0	0	0
大正区	5	8	*	0	0	0	0	0
西淀川区	*	0	0	0	*	*	0	0
中央区	27	33	*	*	*	0	0	0
天王寺区	4	4	*	0	0	0	0	0
浪速区	5	*	0	0	0	0	0	0
東成区	6	*	*	0	*	*	0	0
生野区	5	5	*	*	0	*	0	0
城東区	10	4	*	0	0	0	0	0
鶴見区	5	5	0	0	0	0	0	0
阿倍野区	10	9	4	*	0	0	0	0
住之江区	0	0	*	0	0	0	0	0
住吉区	9	4	0	0	0	0	0	0
東住吉区	*	6	*	*	0	0	0	0
平野区	6	8	*	0	0	0	0	0
西成区	5	4	*	*	0	0	0	*
大阪市	177	160	31	10	*	*	*	*
大阪府	396	336	69	22	7	8	*	*

*:原則1~3の施設数の場合を示すが、都道府県や二次医療圏等の総数から市町村の施設数を特定可能な場合は、1~3以外の施設数でも*がある。

出典 厚生労働省「医療施設調査」

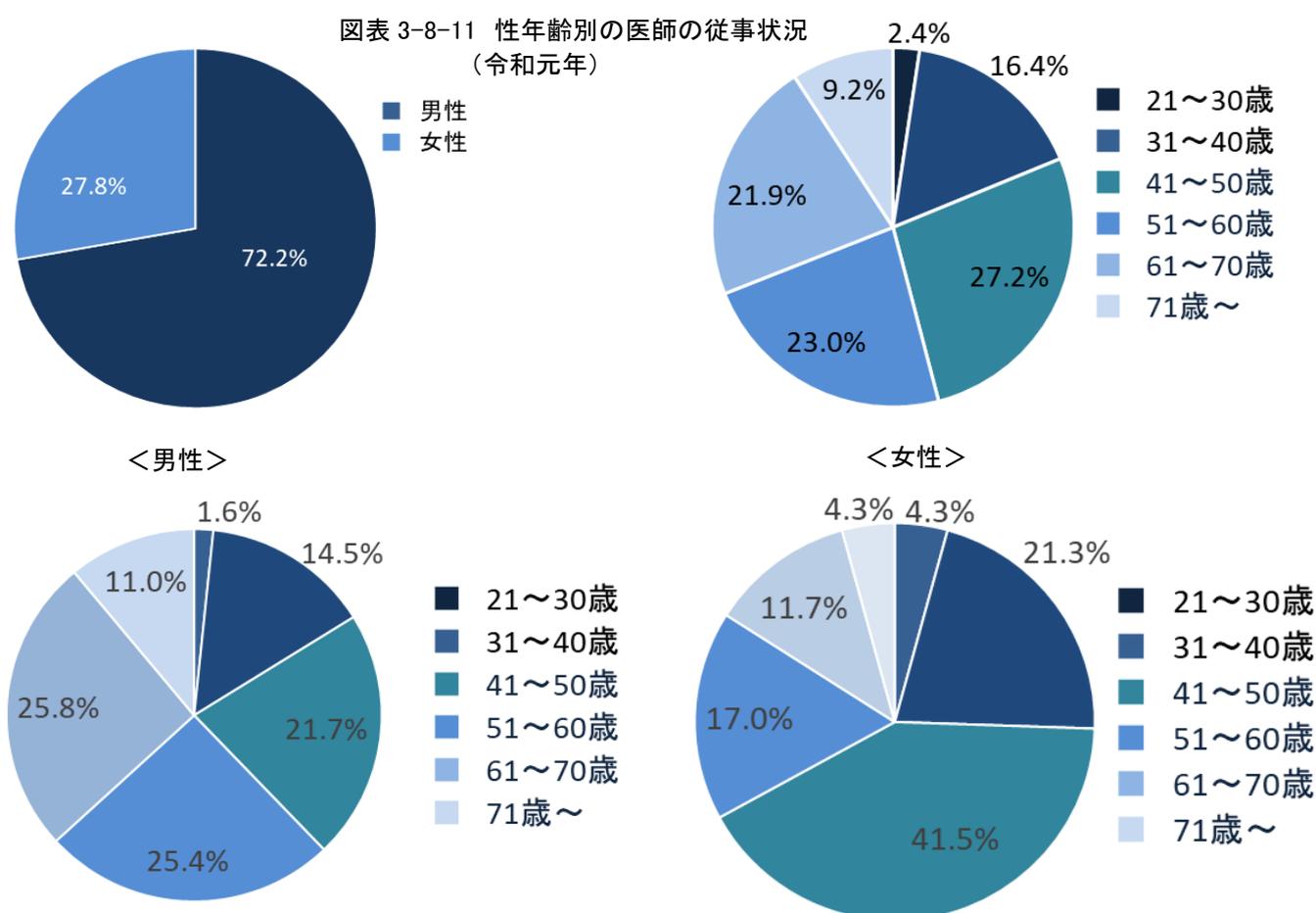
(2) 外来に従事する医師

【外来医師偏在指標(調整人口 10 万当たり診療所医師数)^{注1}】

○大阪市二次医療圏における外来医師偏在指標は、138.3 と大阪府 114.3、全国 106.3 に対していずれも上回っており、外来医師多数区域^{注2}となっています。

【性年齢別の医師の従事状況(アンケート調査^{注3}結果)】

○大阪市二次医療圏内一般診療所における勤務医師の男女比は、男 72.2%、女性 27.8%となっており、年齢別にみると 51 歳以上の医師の割合が 54.0%と過半数を超えています。



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

注1 外来医師偏在指標とは、「標準化診療所医師数/地域の人口(10万当たり)/地域の標準化受療率比/地域の診療所の外来患者対応割合」と定義しています。

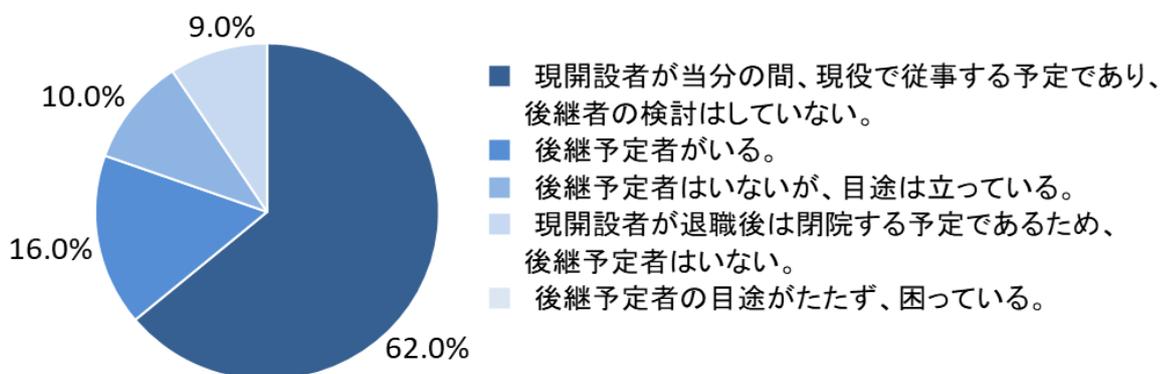
注2 外来医師偏在指標の値が全二次医療圏の中で上位 33.3%に該当する二次医療圏を外来医師多数区域と定義しています。

注3 大阪府が、大阪府外来医療計画・大阪府医師確保計画策定のために、大阪府内の医療機関に対して行った調査。

【後継者の状況(アンケート調査結果)】

○大阪市二次医療圏域内一般診療所においては、後継予定者がいる施設は全体の 16.0%となっています。

図表 3-8-12 後継者の有無【一般診療所】
(令和元年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

(3) 外来患者の受け入れ状況

【外来患者延数】

○平成 29 年度における大阪市二次医療圏の外来患者延数は、一般診療所が 2,732,712 人 (79.2%)、病院が 719,152 人 (20.8%) となっています。

(4) 医療・介護施設等との連携について

【一般診療所】

○令和元年9月10日現在、大阪市二次医療圏内一般診療所においては、病院と連携している診療所は、全体の 33.4%、他の一般診療所と連携は同 19.8%、歯科診療所との連携は同 4.3%、薬局との連携は同 21.5%、訪問看護ステーションとの連携は同 25.1%、居宅介護支援事業所との連携は同 18.5%となっています。

図表 3-8-13 連携機関の状況【一般診療所】(令和元年)

	連携機関先機関												一般診療所	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	279	27.8%	168	16.7%	41	4.1%	166	16.5%	199	19.8%	145	14.4%	1,005	100%
西部	188	37.2%	117	23.2%	32	6.3%	128	25.3%	141	27.9%	108	21.4%	505	100%
東部	378	32.9%	220	19.1%	47	4.1%	242	21.0%	274	23.8%	201	17.5%	1,150	100%
南部	356	37.9%	207	22.0%	35	3.7%	236	25.1%	290	30.9%	211	22.5%	939	100%
大阪市	1201	33.4%	712	19.8%	155	4.3%	772	21.5%	904	25.1%	665	18.5%	3,599	100%
大阪府	3,094	35.9%	1,719	20.0%	378	4.4%	1,979	23.0%	2,319	26.9%	1,673	19.4%	8,616	100%

出典 大阪府医療機関情報システム

【病院】

○令和元年9月10日現在、大阪市二次医療圏内病院においては、他の病院との連携は、全体の54.2%、一般診療所との連携は同52.5%、歯科診療所との連携は同12.4%、薬局との連携は同36.2%、訪問看護ステーションとの連携は同54.8%、居宅介護支援事業所との連携は同54.2%となっています。

図表 3-8-14 連携機関の状況表【病院】(令和元年)

	連携機関先機関												病院	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	20	54.1%	19	51.4%	6	16.2%	16	43.2%	21	56.8%	21	56.8%	37	100%
西部	16	55.2%	14	48.3%	3	10.3%	9	31.0%	15	51.7%	17	58.6%	29	100%
東部	36	57.1%	37	58.7%	10	15.9%	25	39.7%	37	58.7%	37	58.7%	63	100%
南部	24	50.0%	23	47.9%	3	6.3%	14	29.2%	24	50.0%	21	43.8%	48	100%
大阪市	96	54.2%	93	52.5%	22	12.4%	64	36.2%	97	54.8%	96	54.2%	177	100%
大阪府	329	64.0%	315	61.3%	63	12.3%	223	43.4%	341	66.3%	326	63.4%	514	100%

出典 大阪府医療機関情報システム

2. 初期救急医療体制

(1) 休日・夜間急患センターの設置状況

○令和元年12月1日現在、休日・夜間急患センターは8施設となっています。

図表 3-8-15 休日夜間急患センターの設置状況（令和元年12月1日）

市区町村	医療機関名	診療科目	診療受付時間	
			平日	休日
西区	中央急病診療所	内科	平日	22:00~5:30
			土曜日	15:00~5:30
			休日	17:00~5:30
		小児科	平日	22:00~5:30
			土曜日	15:00~5:30
			休日	17:00~5:30
		眼科	平日	22:00~0:30
			土曜日	15:00~21:30
			休日	10:00~21:30
		耳鼻咽喉科	平日	22:00~0:30
			土曜日	15:00~21:30
			休日	10:00~21:30
都島区	都島休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
此花区	西九条休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
淀川区	十三休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
東成区	今里休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
東住吉区	中野休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
		小児科	平日	20:30~23:00
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
住吉区	沢之町休日急病診療所	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00~16:30
天王寺区	大阪府歯科医師会附属歯科診療所	歯科	平日	21:00~3:00
			土曜日	21:00~3:00
			休日	9:30~16:00
			休日	21:00~3:00

出典 大阪府医療機関情報システム

(2) 時間外等外来施設数

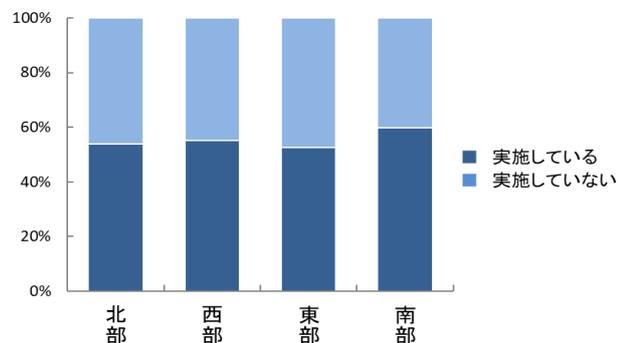
【時間外等外来施設数（夜間及び休日に開院している医療機関の状況）】

○令和元年9月10日現在、大阪市二次医療圏内の一般診療所において、平日（時間外）に診療している施設は全体の55.2%、平日（夜間）は同0.7%、土曜日（時間外）は同42.8%、土曜日（夜間）は0.2%、日曜・祝日（時間外）は同6.3%、日曜・祝日（夜間）は同0.2%となっています。

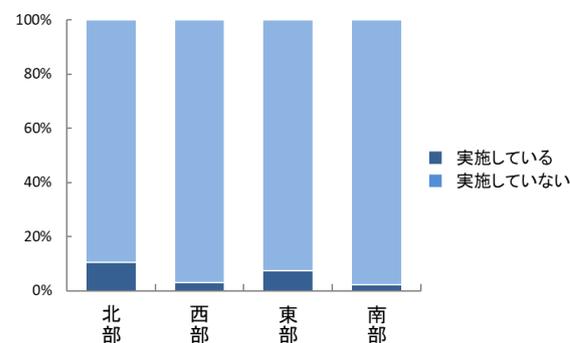
図表 3-8-16 時間外等^注外来施設数【一般診療所】(令和元年)

	平日(時間外)		平日(夜間)		土曜日(時間外)		土曜日(夜間)		日曜日・祝日(時間外)		日曜日・祝日(夜間)		一般診療所	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	541	53.8%	6	0.6%	485	48.3%	2	0.2%	106	10.5%	3	0.3%	1,005	100%
西部	278	55.0%	3	0.6%	208	41.2%	2	0.4%	15	3.0%	2	0.4%	505	100%
東部	605	52.6%	10	0.9%	517	45.0%	1	0.1%	85	7.4%	3	0.3%	1,150	100%
南部	562	59.9%	7	0.7%	332	35.4%	1	0.1%	21	2.2%	0	0.0%	939	100%
大阪市	1,986	55.2%	26	0.7%	1,542	42.8%	6	0.2%	227	6.3%	8	0.2%	3,599	100%
大阪府	5,055	58.7%	55	0.6%	3,071	35.6%	16	0.2%	458	5.3%	16	0.2%	8,616	100%

図表 3-8-17 一般診療所における時間外診療の実施状況(平日)



図表 3-8-18 一般診療所における時間外診療の実施状況(日曜日・祝日)



図表 3-8-19 時間外等^注外来施設数【病院】(令和元年)

	平日(時間外)		平日(夜間)		土曜日(時間外)		土曜日(夜間)		日曜日・祝日(時間外)		日曜日・祝日(夜間)		病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	16	43.2%	2	5.4%	12	32.4%	1	2.7%	3	8.1%	1	2.7%	37	100%
西部	6	20.7%	0	0.0%	11	37.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	29	100%
東部	27	42.9%	2	3.2%	26	41.3%	1	1.6%	2	3.2%	1	1.6%	63	100%
南部	15	31.3%	0	0.0%	11	22.9%	0	0.0%	2	4.2%	0	0.0%	48	100%
大阪市	64	36.2%	4	2.3%	60	33.9%	2	1.1%	7	4.0%	2	1.1%	177	100%
大阪府	189	36.8%	7	1.4%	138	26.8%	3	0.6%	12	2.3%	3	0.6%	514	100%

出典 大阪府医療機関情報システム

注 時間外は平日の6時から8時及び18時から22時、土曜日の6時から8時及び12時から22時、日曜日・祝日の6時から22時。

夜間は平日、土曜日、日曜日・祝日ともに22時から6時。

3. 在宅医提供体制

(1) 在宅医療に関する状況

【訪問診療実施件数】

○大阪市二次医療圏の平成29年9月1日から平成29年9月30日の1ヶ月間における訪問診療実施件数は、一般診療所が44,037件(89.7%)、病院が5,069件(10.3%)となっており、人口10万対でみると、大阪府を上回っています。

【訪問診療実施施設数】

○大阪市二次医療圏の平成29年10月1日現在における訪問診療実施施設数は、一般診療所が773施設(93.0%)、病院が58施設(7.0%)となっており、人口10万対でみると、大阪府を上回っています。

【往診実施件数】

○大阪市二次医療圏の平成29年9月1日から平成29年9月30日の1ヶ月間における往診実施件数は、一般診療所が6,869件(95.4%)、病院が329件(4.6%)となっており、人口10万対でみると、大阪府を上回っています。

【往診実施施設数】

○大阪市二次医療圏の平成29年10月1日現在における往診実施施設数は、一般診療所が755施設(95.8%)、病院が33施設(4.2%)となっており、人口10万対でみると、大阪府を上回っています。

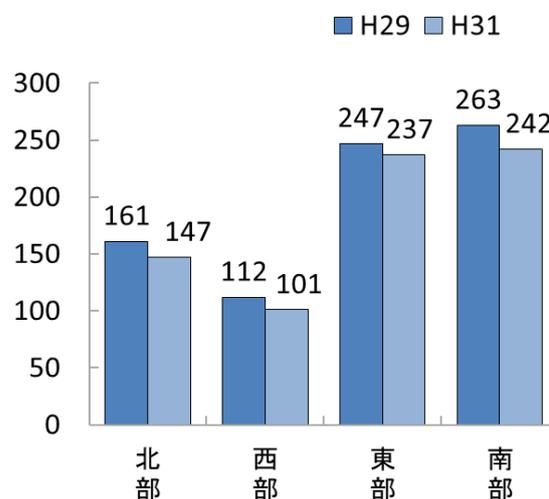
【在宅療養支援診療所数】

○大阪市二次医療圏における在宅療養支援診療所数を平成 29 年と平成 31 年とで比較すると、やや減少しており、人口 10 万対でみると、大阪府を上回っています。

図表 3-8-20 在宅療養支援診療所数
(平成 29 年・31 年)

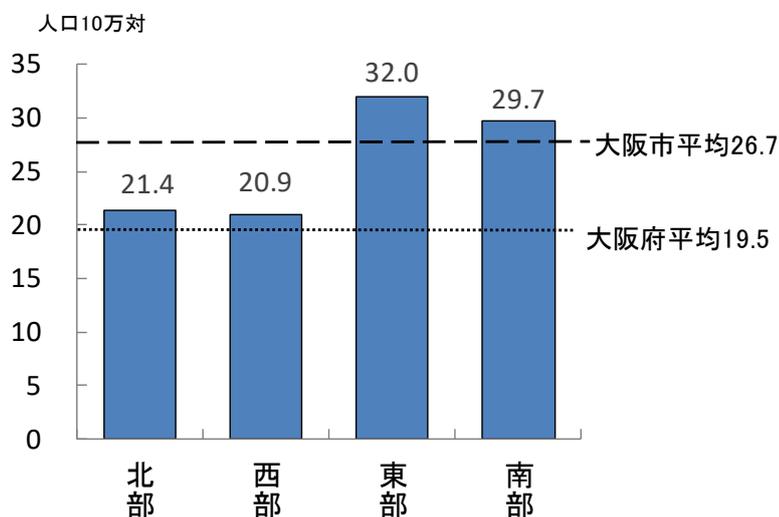
基本保健医療圏	H29	H31
北部	161	147
西部	112	101
東部	247	237
南部	263	242
大阪市	783	727
大阪府	1,856	1,723

図表 3-8-21 在宅療養支援診療所数
(平成 29 年・31 年)



図表 3-8-22 人口 10 万対在宅療養支援診療所数
(平成 31 年)

出典 近畿厚生局「施設基準等」



出典 近畿厚生局「施設基準等」

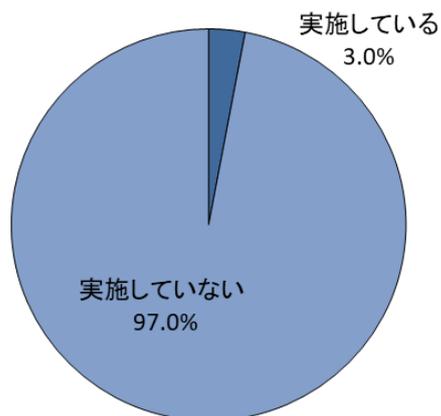
※「人口 10 万対」算出に用いた人口は、総務省「国勢調査」、大阪府総務部「大阪府の推計人口(平成 30 年 10 月 1 日現在)」

(2) 在宅医療におけるグループ診療^注に関する状況

【グループ診療の実施状況(アンケート調査結果)】

○大阪市二次医療圏におけるアンケート調査に回答いただいた101施設では、グループ診療を実施していると回答した施設は3.0%となっています。

図表 3-8-23 グループ診療の実施状況【一般診療所】(令和元年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

【グループ診療を円滑に実施するために必要なこと(アンケート調査結果)】

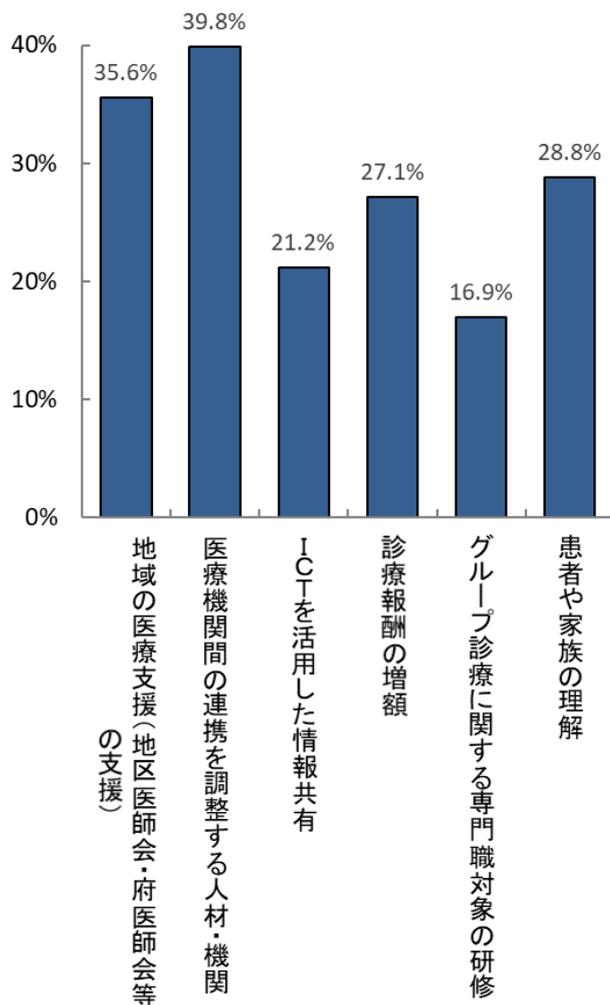
○大阪市二次医療圏におけるグループ診療を円滑に実施するために必要なことについて、一般診療所では、「医療機関間の連携を調整する人材・機関」が最も多く、次いで「地域の医療支援(地区医師会・府医師会等の支援)」の順に多くなっています。

図表 3-8-24 グループ診療を円滑に実施するために必要なこと(令和元年)

グループ診療を円滑に実施するために必要なこと	大阪市					
	一般診療所			病院		
	アンケート回答数	割合	施設数	アンケート回答数	割合	施設数
地域の医療支援(地区医師会・府医師会等の支援)	42	35.6%	118	48	50.5%	95
医療機関間の連携を調整する人材・機関	47	39.8%	118	51	53.7%	95
ICTを活用した情報共有	25	21.2%	118	38	40.0%	95
診療報酬の増額	32	27.1%	118	37	38.9%	95
グループ診療に関する専門職対象の研修	20	16.9%	118	16	16.8%	95
患者や家族の理解	34	28.8%	118	37	38.9%	95

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

図表 3-8-25 グループ診療を円滑に実施するために必要なこと【一般診療所】(令和元年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

注 「24時間365日の緊急時や看取りに対応するため、1人の在宅療養者を複数の医師が連携して診療すること」と定義しています。

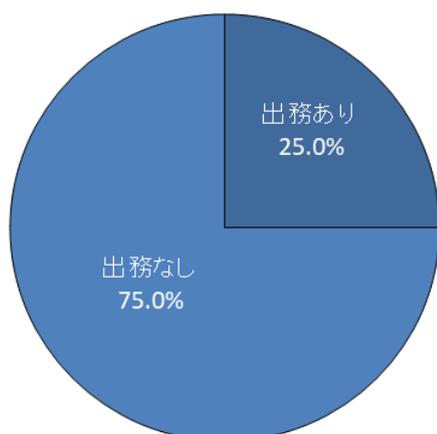
4. その他（公衆衛生活動等）

（1）公衆衛生活動（産業医、学校医、予防接種等）の実施状況

【産業医の出務有無(アンケート調査結果)】

○平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間に、大阪市二次医療圏内一般診療所で産業医の出務経験のある医師は25.0%となっています。

図表 3-8-26 産業医の出務有無【一般診療所】(令和元年)

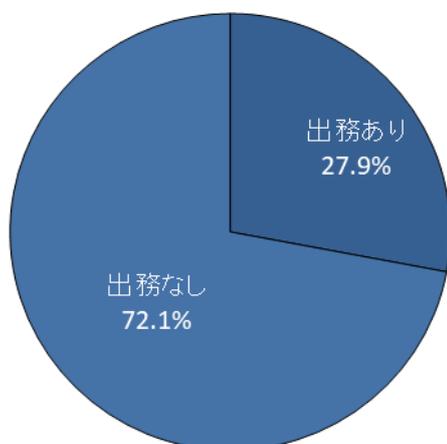


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

【学校医の出務有無(アンケート調査結果)】

○平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間に、大阪市二次医療圏内一般診療所で学校医の出務経験のある医師は27.9%となっています。

図表 3-8-27 学校医の出務有無【一般診療所】(令和元年)

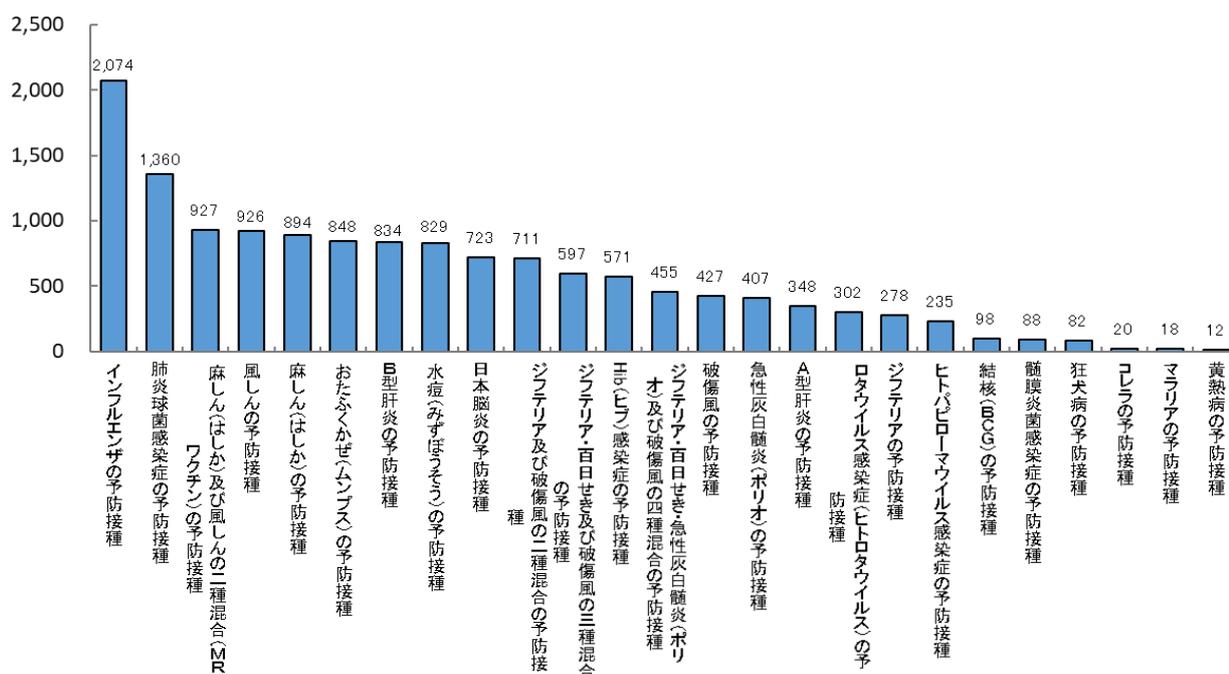


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

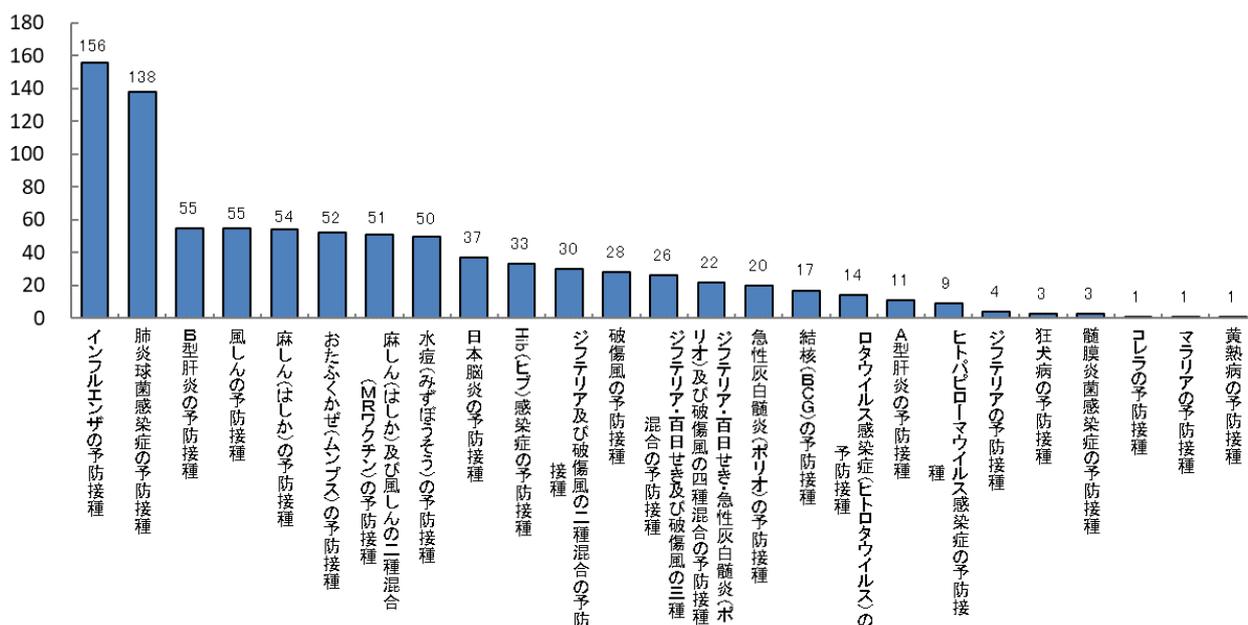
【予防接種実施医療機関数】

○令和元年9月10日現在、大阪市二次医療圏内一般診療所において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが、「インフルエンザ」2,074施設、次いで「肺炎球菌感染症」1,360施設、次いで「麻疹及び風しんの二種混合」927施設となっています。

図表 3-8-28 予防接種実施医療機関数【一般診療所】



図表 3-8-29 予防接種実施医療機関数【病院】



出典 大阪府医療機関情報システム

5. 医療機器

(1) 医療機器（CT、MRI、PET、マンモグラフィ、放射線治療器（体外照射））の実態

【医療機器の保有医療機関数】

○令和元年9月10日現在、大阪市二次医療圏内において、CTを有する医療機関の割合は一般診療所で1.9%、病院82.5%、MRIは一般診療所で1.2%、病院で45.2%、PETは一般診療所で0%、病院で4.0%、マンモグラフィは一般診療所4.3%、病院で26.0%、放射線治療機器（体外照射）は一般診療所で0%、病院で13.0%となっています。

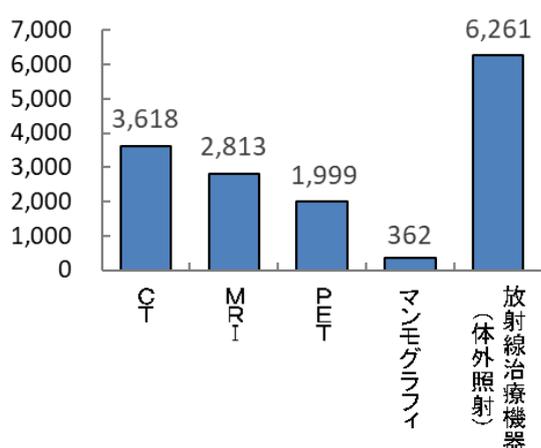
【医療機器の稼働率（年間算定回数／保有医療機関数）】

○平成28年4月から平成29年3月の1年間における、1医療機関当たりの医療機器の年間算定回数は、CTで3,618回、MRIで2,813回、PETで1,999回、マンモグラフィで362回、放射線治療機器（体外照射）で6,261回となっています。

【調整人口当たりの医療機器保有台数^注】

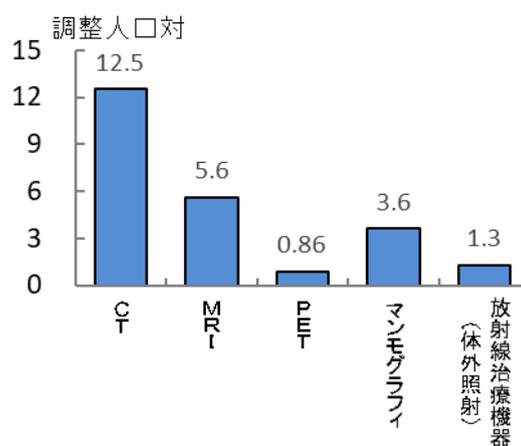
○平成30年4月1日現在、調整人口当たりの医療機器の保有台数は、CTが12.5と最も高くなっています。

図表 3-8-30 1医療機関当たりの年間算定回数
【病院・一般診療所】(平成28年)



出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」
大阪府医療機関情報システム

図表 3-8-31 府内調整人口当たりの医療機器
保有台数(平成30年)



出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」

注 調整人口当たりの医療機器保有台数とは、「地域の医療機器の台数/地域の人口（10万当たり）/地域の標準化検査率比」と定義しています。

(2) 医療機器の共同利用のあり方について

【保有している医療機器の中で他の医療機関と共同利用を行っているもの(アンケート調査結果)】

○大阪市二次医療圏内病院において、保有する医療機器の共同利用を行っている病院の割合は、CTで24.5%、MRIで30.3%、PETで50.0%、マンモグラフィで5.6%、放射線治療機器(体外照射)で0%となっています。

図表 3-8-32 共同利用を行っている医療機器(令和元年)

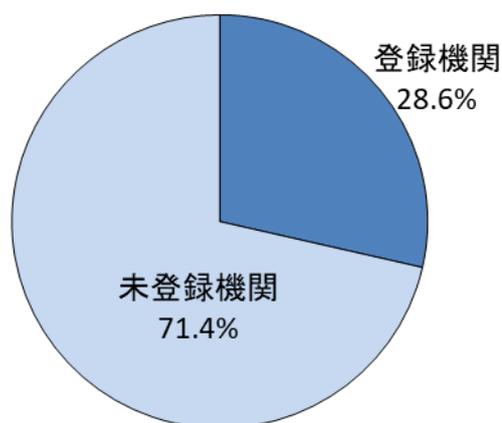
医療機器	大阪市									
	一般診療所					病院				
	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		アンケート 回答 医療機関数	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		アンケート 回答 医療機関数
	施設数	割合	施設数	割合		施設数	割合	施設数	割合	
CT	1	20.0%	4	80.0%	5	12	24.5%	37	75.5%	49
MRI	0	0%	1	100%	1	10	30.3%	23	69.7%	33
PET	0	0%	0	0%	0	2	50.0%	2	50.0%	4
マンモグラフィ	1	50.0%	1	50.0%	2	1	5.6%	17	94.4%	18
放射線治療機器(体外照射)	0	0%	2	100%	2	0	0%	12	100%	12

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

【地域医療支援病院の登録機関数の割合(アンケート調査結果)】

○地域医療支援病院の登録機関^注となっている割合は、一般診療所で28.6%、病院で14.4%となっています。

図表 3-8-33 地域医療支援病院の登録機関【一般診療所】(令和元年)



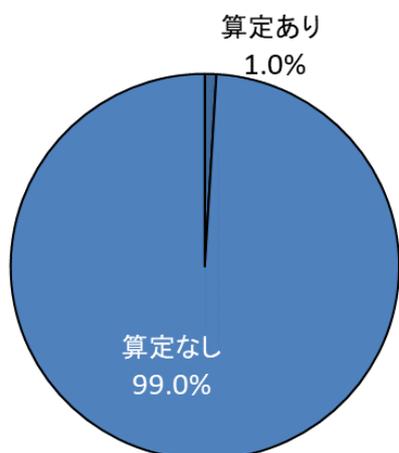
出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

注 当該病院が地域のかかりつけ医等を支援する観点から、建物、設備、機器等を地域の医師等が利用することができるよう、当該病院の共同利用に関する運営規定等に基づき登録した医療機関をいいます。

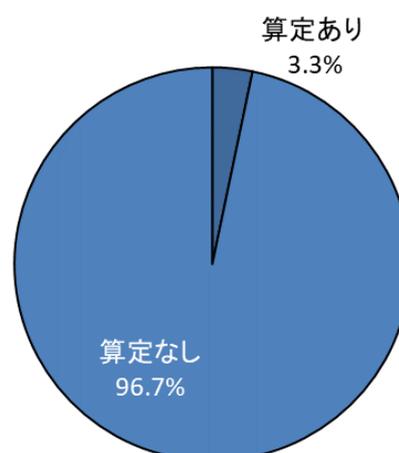
【医療機器の共同利用加算の算定有無(アンケート調査結果)】

○大阪市二次医療圏内の医療機関において、医療機器の共同利用管理加算を算定している医療機関の割合は、一般診療所で1.0%、病院で3.3%となっています。

図表 3-8-34 共同利用加算の算定有無
【一般診療所】(令和元年)



図表 3-8-35 共同利用加算の算定有無
【病院】(令和元年)

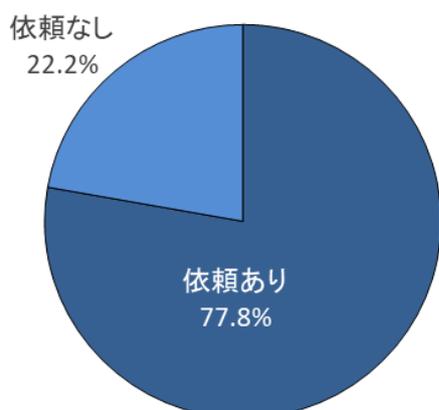


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

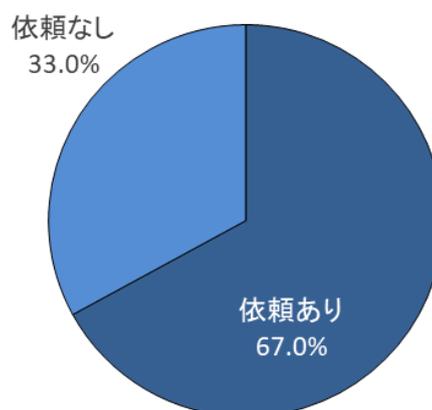
【他の医療機関への画像検査依頼の有無(アンケート調査結果)】

○大阪市二次医療圏内の医療機関において、他の医療機関へ画像検査依頼をしたことがある医療機関の割合は、一般診療所で77.8%、病院で67.0%となっています。

図表 3-8-36 他の医療機関への画像
検査依頼の有無【一般診療所】(令和元年)



図表 3-8-37 他の医療機関への画像
検査依頼の有無【病院】(令和元年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

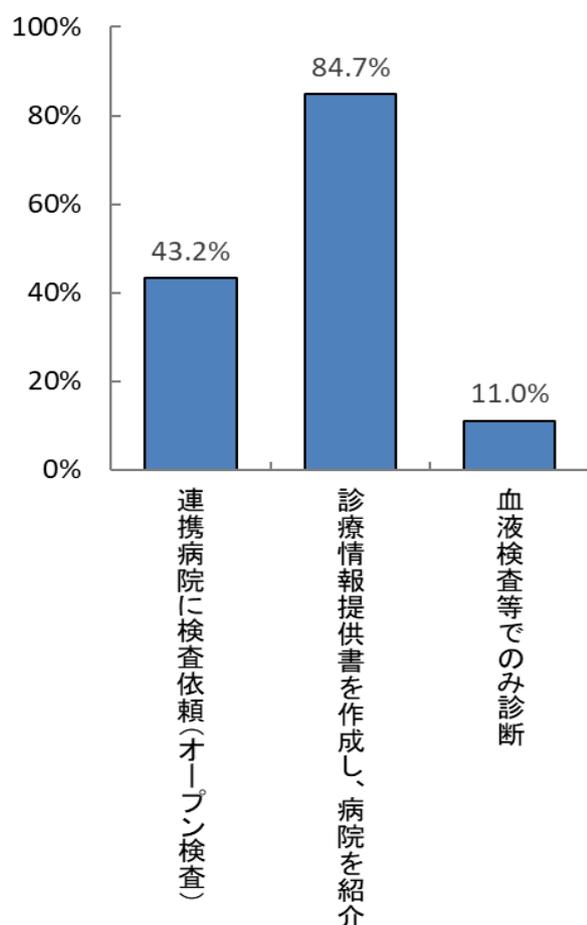
【自院に検査機器がない場合の対応(アンケート調査結果)】

○大阪市二次医療圏内の医療機関において、自院に検査機器がない場合の対応は、連携している病院に検査を依頼(オープン検査)する医療機関が一般診療所で43.2%、病院で36.8%、診療情報提供書を作成し病院を紹介する医療機関が、一般診療所で84.7%、病院で78.9%、血液検査等でのみ診断する医療機関が、一般診療所で11.0%、病院で7.4%となっています。

図表 3-8-38 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和元年)

自院に検査機器がない場合の対応	大阪市					
	一般診療所			病院		
	施設数	割合	総数	施設数	割合	総数
連携病院に検査依頼(オープン検査)	51	43.2%	118	35	36.8%	95
診療情報提供書を作成し、病院を紹介	100	84.7%	118	75	78.9%	95
血液検査等でのみ診断	13	11.0%	118	7	7.4%	95

図表 3-8-39 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和元年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」

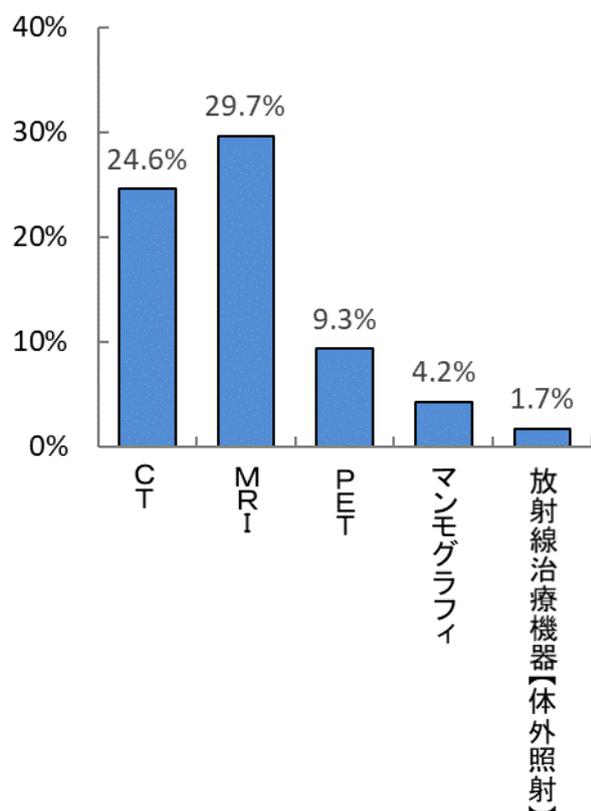
【医療機器別共同利用希望医療機関の割合(アンケート調査結果)】

○医療機器別共同利用希望医療機関の割合は、CTでは一般診療所 24.6%、病院 10.5%、MRIでは一般診療所 29.7%、病院 16.8%、PETでは一般診療所 9.3%、病院 18.9%、マンモグラフィでは一般診療所 4.2%、病院 6.3%、放射線治療機器(体外照射)では一般診療所 1.7%、病院 8.4%となっています。

図表 3-8-40 共同利用であればぜひ活用したい医療機器(令和元年)

医療機器	大阪市					
	一般診療所			病院		
	活用希望医療機関数	割合	施設数	活用希望医療機関数	割合	施設数
CT	29	24.6%	118	10	10.5%	95
MRI	35	29.7%	118	16	16.8%	95
PET	11	9.3%	118	18	18.9%	95
マンモグラフィ	5	4.2%	118	6	6.3%	95
放射線治療機器【体外照射】	2	1.7%	118	8	8.4%	95

図表 3-8-41 共同利用であればぜひ活用したい医療機器【一般診療所】(令和元年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のためのアンケート調査」